

《公教育の目的・目標》
 ○日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領
 ○北海道教育目標
 ○上川教育推進プラン
 ○当麻町教育行政方針

《学校教育目標》
 =夢と愛をもち 未来にはばたく子ども=
やさしく かしく たくましく

《地域・学校の特性》
 ○学校への協力性・質の高い校内研究・安全な学校・地域と共に歩む学校等

《児童の実態》
 ○明朗快活・やさしさ・責任感・公正な判断力・発表力
 ○課題は、主体性・粘り強さ・気配り・学習規律

《保護者の願い》
 ○思いやり・心身の健康・不撓不屈・生命尊重・公正公平等

《経営の基本方針》
 (1) 日常生活に生きる「心」の育成と、「命」の教育
 当麻町が推進している「心育」(「食育」「木育」「花育」)を具現化
 (2) 学力の確かな習得と向上
 自分の力で課題をとらえ、読み、考え、発表・交流し、まとめる、これらの流れを、子どもを中心にして行っていく。
 (3) 健康に対する意識と、体力の向上
 子ども達が、自分の「健康・体力」に関心を持ち、それを保持・増進しようとする意識を育てていく。「安全」についても、同様に意識を高める必要がある。
 (4) 地域・保護者との連携・発信・働きかけ
 子ども達の将来を見つめた質の高い教育環境を築くために、地域・保護者と一体となった取組を進める。

《重点目標》
みんな 笑顔!
 ~ 気づいて、行動しよう~

《めざす子ども像》
 ○愛を育むやさしい子ども
 ○夢を抱くかっこいい子ども
 ○翔く力を培うたくましい子ども
 『みんなの笑顔のために気づいて、考えて、行動する子ども』
 『自他の命を大切にできる子ども』

《めざす学校像》
夢を抱き 愛を育み 翔く力を培う学校
 ○子どもにとって楽しく潤いのある学校
 ○教師にとって感動のある学校
 ○保護者にとって信頼のある学校
 ○地域にとって頼りがいのある学校
 『子ども達の笑顔が いきいきと輝く学校』

《学校経営の重点》
 (1) 教育課程の改善・充実
 ① 心を育てる教育 「自己有用感」「自尊意識」を高める具体的・日常的な指導
 ② 学力の確実な習得・向上 子どもの学習意欲を高める指導(教材教具・指導方法・指導技術)
 ③ 健康・健全な体づくり 年間を通じた体力づくり(休み時間の活用、意欲を高める工夫、計測・継続・意欲化)
 (2) 連携の強化・発展
 ① 保護者 連絡、相談の緊密化 共にこの子を育てるという意識の共有
 ② 幼保小中 小1プロブレム解消・中1ギャップ解消のための連携 交流行事・交流授業
 ③ 地域・P T A でんすけすいか・田んぼの学習
 (3) 勤務時間の縮減への手立て
 ① 簡略化、効率化、省力化できるものを
 (4) 日常の実践に密接に繋がる研修活動
 ① 「当小スタイル」の共通実践による積み重ね
 (5) 一人一人の子どもが輝く学級・学年経営
 ① 年度の重点目標を受け、計画的・具体的手立てを
 (6) 信頼関係に基づく学校事務
 ① 学校の窓口として、来客や電話には明るくさわやかで柔らかな対応

《めざす教師像》
 『自己を謙虚に反省し、常に高まるとうとする教師』
 ○子どものよい話題であふれる職員室に
 ○子どもや家庭のせいにならない教職員に
 ○やる時はやる、楽しむ時は楽しむ仲間
 ○意見・批判を素直に受け入れられる私達に
 ○積極的に学ぶ姿勢・学ぶ気持ちをもつ教職員に
 ○思いやりと切磋琢磨を合わせもつ職員室に

《各領域別における指導の重点》

学習指導(「わかる」「できる」を導く)	人権教育(人権意識を高め、差別や偏見をなくす)
道徳教育(「自己有用感」「自尊感情」を高める)	食育(食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける)
特別活動(子どもがよりよく考え行動できる)	環境教育(身近な環境に対する興味や関心を高める)
総合的な学習の時間(探求する力を育む)	情報教育(情報モラルをもって、P Cに慣れ親しむ)
外国語活動(外国語への抵抗を軽減し、慣れ親しむ)	国際理解教育(地球上にある諸問題について正しい理解をもつ)
生徒指導(「聞く・理解する・寄り添う」「考えさせる・教える」)	ボランティア教育(ボランティア活動の重要性に気づく)
キャリア教育(自分のよさや多様な生き方に気づく)	安全教育(日常生活全般における安全意識を高める)
健康教育(安全対応能力を身に付ける)	防災教育(天災時における的確な避難行動がとれる)
特別支援教育(子ども一人一人の教育的ニーズに応じる)	

かかわり合って高まる子をめざして
 ~よく聞き、よく考え、よく話す、主体的に学ぶ授業づくりを通して~

計画・実践・評価・改善